

座談会

全力投球!

今輝いている女性たち

今回は、地元企業で今、輝いておられる女性に焦点をあて、仕事の上での心構え、考え方、苦勞、楽しいことなどについてお聴きしました。

特に、仕事に情熱を持って取り組まれ、いつも感謝の気持ちを忘れず、謙虚な姿勢で働いておられる姿を皆様にご紹介します。



山陽特殊製鋼株式会社

幸嶋 真衣子 さん



医療法人社団 健裕会 中谷病院

谷岡 裕美 さん



神姫観光バス株式会社

宮脇 恵子 さん

どのような仕事内容

気配り、心遣いを大切に二交替勤務!

幸嶋：私は鉄鋼会社に勤めています。高校卒業後、交替勤務という条件で入社して、今年で7年目になります。現在、昼勤と夜勤の交替勤務をしており、1,500人いる従業員のうち、交替勤務をしている女性は15名です。しかし、1班に女性は1名しかいません。

仕事内容は、鋼材を製造する最終工程で製品の表面傷や内面傷がないかを検査する作業をしています。

重い鋼材を扱う現場作業では、相応の体力が必要になりますので、当初は男性に負けまいと筋トレをしていたこともありました。今では女性ならではの細かな部分への気配りや心遣いの部分を大切にしています。

結婚、出産で一時退職し復帰!

谷岡：私は現在、子どもが小さいため、昼勤務のみ勤めさせていただいています。当院、外来診療科は内科、循環器内科、呼吸器内科、アレルギー科、消化器内科、リハビリテーション科、人工透析内科があり、入院療養では医療療養型の病床が60床あります。そして、人間ドックや健康診断などの総合健診、在宅診療、通所リハビリテーションも行っています。

私の仕事内容は、人工透析患者様の診療介助・観察・ケアが主です。

結婚前に尼崎の病院で10年ほど看護師として働いていま

した。結婚、出産を期に退職して、約5年のブランクがありました。現在の病院で働き始め、ちょうど1年になったところです。

バスガイドとして、新しい仕事にもチャレンジ!

宮脇：私の仕事はバスガイドです。当社では18歳から59歳までの方が現役のバスガイドとして活躍しています。私自身は親会社に20年勤務し、事業の分社化後、子会社の観光バス会社で8年目を迎えています。

仕事内容は、日帰りから1泊、2泊もあり、西は九州、東は東京など、様々なところへ行っています。

今年から車イスが付いたリフトバスの運行が始まり、このバスの専属5名のうちの一人に選任されました。そこで、最近、介助の勉強を始め、みんなで資格を取得しようと取り組んでいます。家族構成は、主人と大学生の娘が2人、主人の両親と同居しております。

仕事への取り組み意識・考え方は…

安全面が第一! 女性に一層の活躍の機会を!

幸嶋：気を抜くとケガをする職場ですので、まず安全面にはいつも気を付けています。

どちらかというと男性と同等に扱ってほしいという意識がありますので、この仕事は女性には無理と決めつけるのではなく、いろいろな仕事をさせてほしいと思っています。会社の中では、女性に対して少し過保護気味なところもあ

れば、私の職場のように何でもさせてもらえるところもあります。そういう現実を見聞きすると、従来は男性の職場であったところで女性が活躍するには、まだ課題もあるように感じます。

患者様の気持ちを大切に！ 日々謙虚な姿勢で！

谷岡：患者様を看護することが仕事なので、患者様のために働きたいという気持ちを常に持ち、患者様が話されている時は謙虚に耳を傾け、誠心誠意、患者様の理解を得られるように気配りをしています。

また、患者様の日常生活をしっかり観察して変化を見逃さないように、状態把握に力を入れ、精一杯患者様のためにと日々努めています。



“患者様のために”をいつも考え、透析室で働く谷岡さん

お客様の気持ちになって

宮脇：お客様が幼稚園児から老人会などのお年寄りまで年齢的に幅広いことから、時には母になったり、孫になったりしますが、いつもお客様の気持ちを考えて仕事をさせていただいています。女性だからこそできることだと思っています。

また、お客様から言葉にさせていただかなくても、“癒された”“楽しかった”と思っただけのように、何気ない会話の時間も大切にしています。

楽しいことも、辛いこともあります

嬉しい時＝目標を達成した時

仕事が多いとやりがいを感じる

楽しい時＝職場内は女性一人でも、

いろいろな話が休憩時間に聞けること

辛い時＝夏場の暑さと、自分の考えが

上司にうまく伝えられず、勉強不足を痛感

幸嶋：私が働いている検査部門では、月間の目標在庫量が決まっているため、月末には残業や早出をして追い込みをしています。仕事がたくさんある時は、やりがいがあってとても嬉しいです。

その反動で体力的な疲れから、入社間もない頃は立ったままウトウトしてしまったこともありました。また、私の職場は夏でも安全面から長袖着用なので、扇風機を回しても温風機状態で大変です。

職場は世代の幅が広く、はじめは女性は私一人というこ

ともあり、コミュニケーションがうまく取れるか不安もあったのですが、休憩の際にいろいろな話を聞くことができてとても楽しいです。反面、意見が違った時はとても悔しいです。仕事の進め方、改善の提言など自分の考えや意見がうまく上司に伝えられない時は、自分自身の勉強不足を痛感させられます。

楽しい時＝患者様の笑顔が見られる時

苦しかった時＝子どもが小さいので、

仕事と子育ての葛藤があったこと

谷岡：いつも患者様の笑顔が見られることが一番楽しいです。また、患者様から「頑張ってるね」「いつも気にかけてくれてありがとう」と声をかけていただいた時は最高に嬉しいです。

苦勞する点は、子どもが小さいため、保育園に預けて仕事に出かけるので、最初の頃は仕事と子育てとの葛藤でした。とても子どもに悪いことをしているのではないかと胸が痛み悩みました。実家も遠いので子どもが急に熱を出しても親には頼れず、そういった点でも苦しさを感じました。

ただ、働きだして1年が経ち、少しずつ子どもの成長を感じる機会も多くなり、今では自分自身も仕事楽しく感じられるようになり、ようやくこれでよかったと思えるようになりました。

楽しい時＝いろいろな職業の方と

話ができること

苦勞する点＝旅先でお客様に何かあった時

宮脇：いろいろな職業の方と話ができることが楽しいです。

苦勞する点と言えば、お酒を飲みすぎた方が転べれたり、集合時間になってもお見えにならなかったりした時など、そういった時は苦勞が多いように思います。

私は、いつも観光地や見所のポイントについては、必ずお伝えしたいと思っていますので、日々勉強が必要で、学生の時よりも勉強しているような気がします。(笑)



お客様に笑顔でお話をされている宮脇さん

目標とする上司、先輩像とは

上司・先輩が私の目標

幸嶋：言うだけではなく、一生懸命に仕事をしている姿を見せてくれる上司・先輩が自分の目標です。そういった方々は、教え方も上手なので見習う点はたくさんあります。

また、私にも中途採用等で年上の後輩が何人かいますが、かなり指導面で気を遣います。上司から「仕事上では自分の方が先輩だから、自分の信じており教えればいい」とアドバイスをいただき、気持ちが楽になりました。



女性ならではの気配り、心遣いを大切にし、現場で活躍する幸嶋さん

精一杯仕事をして、親身に対応ができる人

谷岡：いつも精一杯仕事に取り組んでいる姿や患者様に対して親身になって対応している先輩が尊敬できる人だと思います。

行動で示し、嫌なことでも率先垂範できる人

宮脇：行動で示してくれる先輩が尊敬できます。また、嫌なことでも率先される方が素敵だなと思います。

仕事を通じて成長したこと

検査部門は製造業の要。視野も広がる

幸嶋：会社に入ってから責任感がすごく強くなったと感じています。お客様に製品をお渡しするので、お客様からクレームがあると受注が減ってしまいます。検査部門というのは、品質管理面の責任を負っている部門ですから、日々間違いが無いよう細心の注意を払っています。検査部門は製造業の要だと思います。

次は、後輩の面倒をみるということです。危ないことをしていると命にかかわる職場ですから、自分のことだけで精一杯になるのではなく、視野を広げて職場を見られるようになったことです。

人への感謝の気持ちと信頼関係の大切さ

谷岡：看護師という職業として命の重さについて考えることが多々あります。

人のために尽くすという仕事をさせてもらえる喜びやありがたさを常に実感しています。そういう経験を通じて、すべての人への感謝の気持ちを持つようになったことが成長したことだと思っています。

また、患者様との関わりを通して信頼関係の大切さや看護の重要性、スタッフとチームで動く重要性を学ぶことができました。

家族や職場の仲間に支えられ

宮脇：私は、家族や周りの人たちの協力があって長年仕事を続けることができました。

仕事を辞めたいと思った時もありましたが、職場の仲間にも支えられ、家族も家事・育児を支援してくれました。仕事によって自分は助けられ、成長できたと思っています。

今後の抱負…

仕事が好き、結婚しても仕事は続けたい

幸嶋：私は、結婚しても仕事を辞めるつもりはありませんし、むしろ仕事は続けたいと思っています。

今、会社ではワークライフバランスの制度が充実していますので、そういう制度をうまく活用して、仕事と家庭との両立をしていきたいと思っています。

今は仕事の面白さをとても実感している時期です。仕事が好きです。仕事しながら、家庭も大事にしていきたい。それが目標です。

いつも誠意を持って患者様と接していきたい

谷岡：今の職場では勉強をする機会をたくさん与えていただいていますので、とてもありがたいと感じています。

今、仕事をするのが生きがいになってきている部分があり、患者様のご要望にどこまで応えてあげられるかが私の仕事ですから、いつも聴く姿勢を持つように心掛け、誠意を持って接していこうと思っています。

内面も外面も磨き続ける

宮脇：輝き続けるために、内面も外面も磨き続けることだと思います。

内面を磨くためには、日々勉強することが大切だと思います。

司会：本日は、皆様から前向きなお話を聴かせていただきました。

仕事を通して、私たちにはわからない大変なことが一杯ある中で、一生懸命取り組まれている様子がよくわかりました。

最後になりますが、これからは職場でずっと輝き続けてください。

本日は、ありがとうございました。



司会 広報委員会
委員 本庄明裕